

首都圏3環状道路の整備について

国土交通省では、慢性的な交通渋滞、渋滞に伴う環境悪化や生活道路への通過交通の流入による交通事故など、首都圏の道路交通問題解消の切り札として、首都圏3環状道路の整備を重点的に進めています

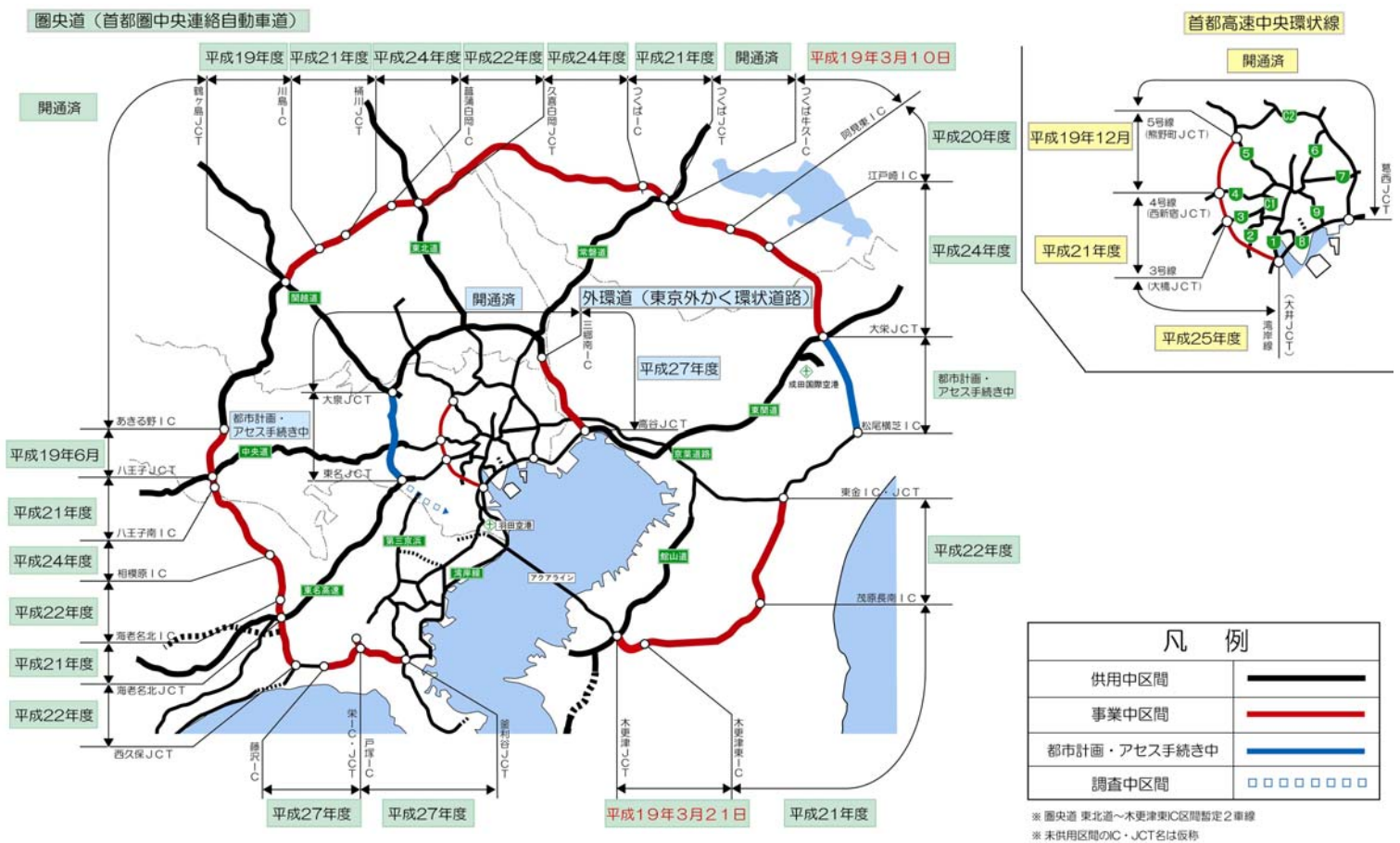
今回の、圏央道「つくば牛久 IC～阿見東 IC」、「木更津東 IC～木更津 JCT」間の開通を皮切りに、6月には圏央道「八王子JCT～あきる野 IC」間が、12月には首都高速道路中央環状新宿線（熊野町JCT～西新宿JCT）が開通、今後続々と首都圏3環状道路が開通していきます。

首都圏の道路交通の骨格として、3環状9放射のネットワークが計画されたのは、いまからおおよそ 40 年前。

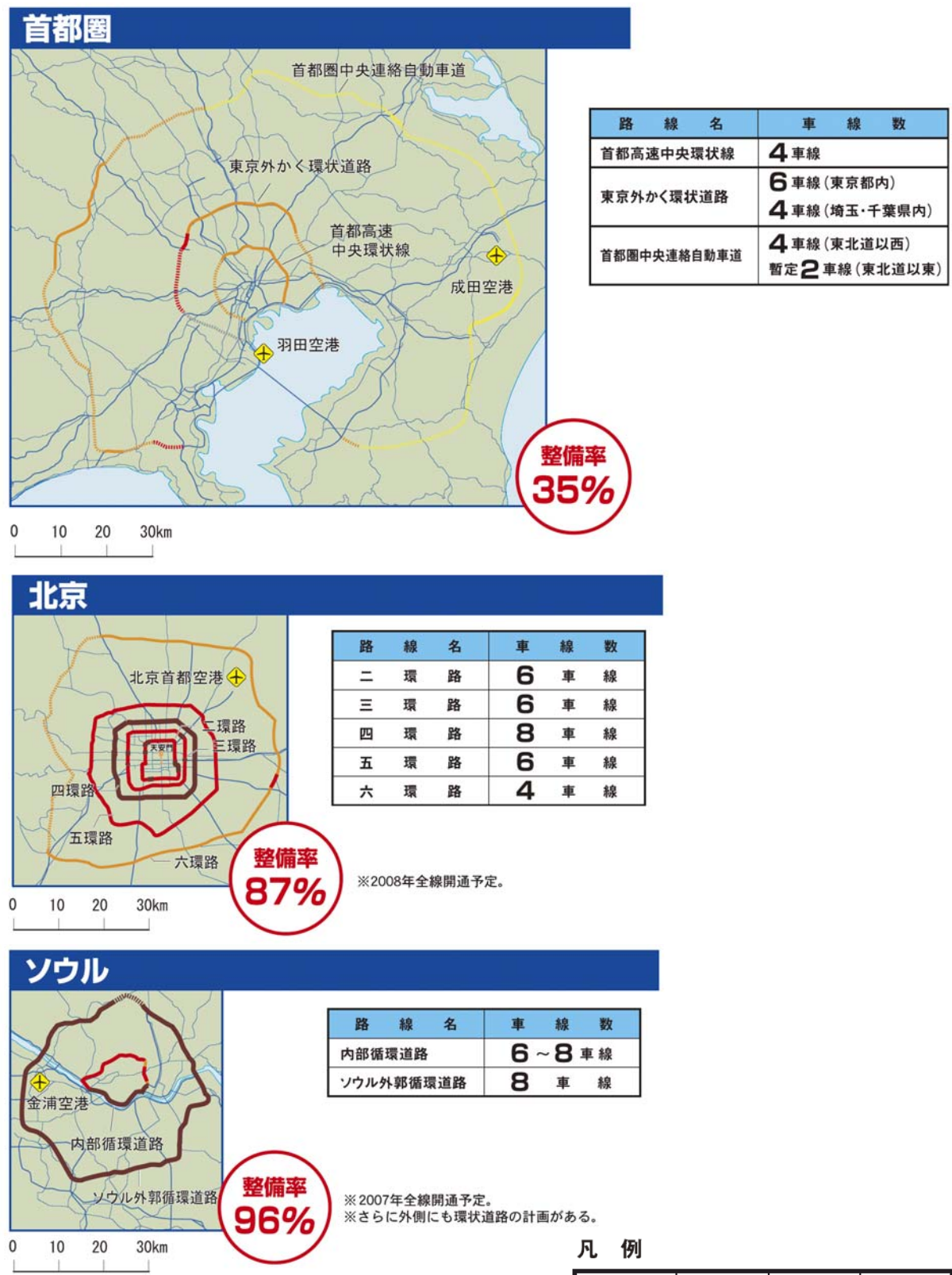
以来、東名、中央、関越、東北道など放射方向の高速道路は整備されましたが、環状方向は整備が遅れました。

その結果、都心に用のないクルマが都心環状線に集中し、慢性的な渋滞が発生しています。都心環状線では、都心に用のない通過するだけの車が約6割にのぼります。「3環状道路」が整備されれば、この通過するだけのクルマがバイパスされ、都心の渋滞緩和等が期待されます。

図－1 首都圏3環状道路の開通目標



図ー2 東アジアの主要都市圏の環状道路
 北京やソウルの環状道路は、首都圏に比べ車線も多く、整備率も高い。



凡 例

環状道路	供用中	事業中	計画中
2車線			
4車線			
6車線			
8車線			